

日本ナイル・エチオピア学会
第一回学術大会公開講演・シンポジウム

『民族の時代と開発援助の理念』

平成4年9月26日
国立民族学博物館講堂

学会会長挨拶 河合 雅雄

福井勝義 ただいまより、日本ナイル・エチオピア学会第一回学術大会公開講演・シンポジウム「民族の時代と開発援助の理念」を開催したいと思います。

皆様、お忙しいところおいでいただきまして、どうもありがとうございました。

それでは、まず開催に先立ちまして、日本ナイル・エチオピア学会の会長であります河合雅雄先生よりご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。(拍手)

河合雅雄 河合でございます。簡単にご挨拶を申し上げます。

現在、世界がかかえている最大の問題として、南北問題がございます。先進国のあふれるような豊かさの反面、途上国はとて貧しくて、そして混乱が起きております。こういうことが起きている理由というのは、経済問題とともに民族問題というものがござひます。この民族問題というのは、南北を越えまして、全世界的な深刻な問題になっていると思ひます。このふたつは、21世紀に持ち越す大変おおきな問題でございます。

これは、世界の平和だけじゃなくて、人類の未来というものを確実にしていくために、解決していくべき最大の課題のひとつだと考えます。

このことについて、わが国の役割は大変おおきくて、世界から期待されておりますが、その期待が経済的な援助ということに絞られているというのは多少残念であります。そしてまた、経済援助をおこなうにつきましても、理念というものははっきりさせなければならない。この点についてはいささか薄弱じゃないかという感じもいたすわ

けです。

本学会が対象としております地域というのは、この南北問題と、それから民族問題のいわば縮図のような様相を呈してあります。それで、この第1回の大会の記念事業としてここで取り上げた次第でございます。

幸いこの問題の世界的な権威でありますクレタ大学のジョン・マルカキス教授をお迎えできましてご講演いただくことを、大変幸いに思っております。

また、今日は関心のある方に多数集まっていたいて、お忙しい中を大変ありがとうございました。熱い討論と実りのある成果を期待しております。

最後になりましたが、国際協力事業団、それから財団法人大阪国際交流センターから後援をいただきましたし、それから関西国際協力協議会の協賛を得ましたことをここでお礼申し上げる次第でございます。

それでは皆様、また後で討論にも参加していただくことをお願いして、ご挨拶に代えます。

(拍手)

福井 どうもありがとうございました。申し遅れましたけれども、私、福井と申します。今回の大会委員長を務めさせていただいております。この民族学博物館に勤務しております。

それでは、公開講演「民族紛争と国家 北東アフリカにおける最近の動向」、慶応大学の小田教授にご司会いただき、マルカキス教授にご講演いただきたいと思ひます。それでは、よろしく。